

## 研究概要

### 1. 研究名称 または課題名テーマ等

入院血液透析患者における有酸素運動中の循環応答に違いがあるのか：非透析日と透析から一定時間後の比較

### 2. 研究責任者(当院)

所属：リハビリテーション室

氏名：三嶽侑哉

#### 共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：なし

代表名：なし

### 3. 分担研究者

所属：腎臓内科

氏名：藤井隆之

所属：整形外科

氏名：岸田俊二、佐々木裕

所属：リハビリテーション室

氏名：白井智裕、加藤木丈英、島袋匠、山口智也、田畑吾樹

所属：聖隷クリストファー大学 理学療法学科

氏名：矢倉千昭

### 4. 研究対象者

2020年07月01日～2022年06月30日の間に、聖隷佐倉市民病院において、入院した血液透析患者の方で且つ個別に同意書に署名された方。

### 5. 研究の必要性

入院血液透析患者における透析終了から一定時間後の運動処方、非透析日に行った運動負荷試験から設定されており、至適運動強度にて運動を行えていない可能性がある。透析終了から一定時間後の運動前の循環動態、運動時の循環応答を非透析日との比較から異なることを明らかにすることで、透析終了から一定時間後の運動を行う場合の運動処方を検討することを提案することができると考えられる。

### 6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

研究等によって生ずる個人の影響は、運動負荷試験を行うこと、透析後に運動療法を行うことによる身体的、精神的負担がかかる可能性があること、NIRSを装着することにより運動中に不快感を感じる可能性があることが考えられる。対策として、研究途中であっても、対象者が心身のストレスを感じた場合、いつでも研究離脱が可能である事について研究依頼書に記載し、口頭でも十分説明する。また、運動負荷試験中と実施前後、測定中と実施前後には体調確認、バイタルサインを測定し、何らかの異常があれば実施を中止する。中止に伴い医療的処置が必要となった場合、研究者が責任をもって加入している学生保険や理学療法士保険から支払いを行う。入院中に万が一、対象者の体調不良があれば主治医に報告し主治医の指示に従う。運動負荷試験、透析後に運動を行うことで血圧や心拍数などのバイタルサインや自覚症状の変化が起きる可能性が考えられるため、あらかじめリスクについて紙面と口頭にて十分に説明する。

今回の検討により医学上の貢献の予測としては、今後の発展的研究につながり、透析終了から一定時間後の運動処方の提案につながると考えている。

### 7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：043-486-1151 (代表)

担当者氏名：三嶽侑哉

対応時間：8:30-17:00

#### ※ご注意

対象者とは、本研究に参加された方です。  
お問合せは、本研究に参加された方と  
研究関係者のみで、その他の方へのご対応  
はできませんので、予めご了承願います。